愛西市巡回バス運行検討委員会　会議録（概要）

会　議　名	令和元年度　第３回　愛西市巡回バス運行検討委員会
開催日時	令和元年９月２４日（火）午後１時 30 分から午後３時 30 分まで
開催場所	愛西市役所北館　２階　会議室２－１、２－２
出　席　者	別紙のとおり
欠　席　者	橋本　清吉、中野　義光、石河　和子、水谷　怜
協議事項等	１．提言書について ２．その他
公開／非公開の別	公開
非公開の理由	―
傍聴人の数	２人
会議資料	次第 （案）巡回バス運行改善の提言書
審議経過	別紙のとおり

愛西市巡回バス運行検討委員会委員

役　　職	氏　　　名	区　　　分	備　　　考
委 員 長	伊豆原　浩二	知識経験を有する者	大学教授
副委員長	伊藤　正憲	地域の実情に精通した者	佐屋地区
委　　員	水野　壽里	知識経験を有する者	佐屋地区
〃	横井　正男	公募委員	佐屋地区
〃	水谷　怜	地域の実情に精通した者	立田地区
〃	伊藤　典之	高齢者	立田地区
〃	渡邉　千鶴子	知識経験を有する者	立田地区
〃	永井　初子	公募委員	立田地区
〃	岡本　千代子	女性	八開地区
〃	服部　愛子	知識経験を有する者	八開地区
〃	福田　道雄	公募委員	八開地区
〃	鬼頭　昭子	公募委員	八開地区
〃	中野　義光	地域の実情に精通した者	八開地区
〃	伊藤　本章	地域の実情に精通した者	佐織地区
〃	石河　和子	女性	佐織地区
	梨本　嵩巳	知識経験を有する者	佐織地区

事務局

氏　　　名	氏　　　名
鷲　尾　和　彦	青　木　万　亀　雄
丹　羽　弘　秋	牛　田　雄　貴

審 議 経 過

発言者	内容（概要）
事務局	本日は、公私ともに何かとお忙しいところ、お出掛け頂きありがとうございます。 ただ今から、令和元年度 第３回　愛西市巡回バス運行検討委員会を始めさせていただきます。 それでは、委員長からご挨拶をいただきたいと思います。よろしくお願いします。
委員長	皆様からの忌憚のないご意見をお願いします。
委員長	それでは、附議事項に入ります。「提言書について」を事務局から説明をお願いします。 １．提言書について 「提言書について」を事務局から説明をお願いします。
事務局	今までの会議の中で議論していただいた内容を事務局で案を作りました。皆様で議論していただき完成させていきたいと思いますのでよろしくお願いします。
委員長	提言書の頭書きの部分についてはよろしいですか何か意見はありませんか、ないようでしたら提言内容に入っていきたいと思います、提言１についてどうですか。
委員	提言内容は良いと思うし周知啓発活動の実施、長期的で継続的な活動が必要と考えます。は良いと思いますが具体的な内容がないと思います。
委員長	周知啓発活動の実施を検討していただきたいとなっているが検討ではなくしてほしいと思うのでどうですが。
委員	実施するという表現にしてほしい。
委員長	市民と協働して実施をしてほしいというのはどうですか。 市民と協働して周知啓発活動の実施をして頂きたい。でいかがですか。
委員長	提言２-1 についてはどうですか。
委員	津島駅への乗り入れを具体的に記入してほしい。

委員	津島のコミバスが有料で愛西が無料だから難しいのですか、名鉄の駅への乗り入れが難しいのですか。
事務局	現状津島市からは駅への乗り入れはやめていただきたいということをうかがっております。
委員	この提言書は来年４月１日のダイヤ変更に向けた提言ですので４月から津島駅への乗り入れは難しいと思います。
委員長	他市町村の中に含まれてはいるのでこれでもいいがその際にはの後に他市町村の事情も考慮しという文言を付け加えるといいのかなと思います。 具体的に駅というのは難しいかなと思います。
委員	将来的には海部地域などの大きな地域で話をしていくといいと思います。
委員長	提言の２−２についてはどうですか。
委員	バス停が一方にしかないところがある事務局はそういったところを見直すつもりがあるのか。
事務局	委員の言われることも含めて危険なところの位置を見直ししていきたいと思っています。
委員	再度地域単位での見直しを検討するというところがわかりにくいのではないか。
事務局	再度地域単位でのと検討の言葉をとって見直しをすべきと考えます。ではどうでしょうか。
委員長	どうですか提言２−２のところは検討をとったらいいと思います。 それでは提言の２−３についてはどうですか
委員	ダイヤ調整をすれば運転手の安全確保の面からも便数は減る可能性はあるのでそれは当然あると思います。それと朝の時間だけ少し余裕を持つ必要がある。
事務局	運転手の安全確保は大変重要なことですのでダイヤの改正によって安全確保ができなければ減るルートも出てくるかもしれませんがご容赦願いたいと思います。
委員長	提言２−３についてはこのままでよろしいですか。

	次に提言２-４につてはどうですか。
委員	有料化についての検討のところの検討をとり有料化についてにしては、また１つ目については有料化について協議する時期に来ていると思います、という表現にしてはどうか、３つ目については独立した項目にして公共交通としてのバスと福祉目的のバスとそれぞれの役割を検討する時期が来てるのではないかと思います。巡回バスが公共交通と福祉目的とどちらともいえないので使い勝手が悪くなっているのではないかと思うのでその部分を精査する時期に来ているのではないかと思います。 　またデマンド交通についてですか今後デマンドでいくのか今迄通り無料で行くのか近隣市町村は有料にしているので将来的にむけてどうするのかを提言することは必要かと思います。
委員長	受益者負担によるバスの運行としての部分ですがこれですと受益者に運行経費をすべて負担しなければならないように誤解されるおそれがある。
委員	事務局としては部分的な受益者負担を含めて検討が必要ではないかということだと思うので順序を変えるといいのではないか。
委員長	有料化を図っていくにうえには受益者負担の考え方も考慮しながらの検討の時期がきておりますとするのか。
委員	有料化には前提があり高齢者の足の問題がありそこのところは公共交通という言葉が使ってあり福祉バスと公共交通を分けるべきでもあるが検討委員会として住民の足をどのようにしていくべきかと考えた後に有料化の話をしないといけないと思う。
委員	有料化の考えはデマンド交通がでてきたら必要だと思うが４月の提言には必要ないのではないか。
委員	有料化にすぐしなければならないわけでなく議論の時期が来ていると思うので提言書としてまとめていただきたい。
委員長	それでしたら市の財政状況を鑑みてもバスの運行として有料化の検討の時期に来ていると思われます。その際はつづけて一つの文章にしてはどうでしょうか。
事務局	いろいろな思いはあると思いますが有料にしろいうわけではなくそういった時期に来ているのではないかということだと思います。
委員長	公共交通のバス、福祉バスと分けるのではなく一つの仕組みの中でうまくサ

	ポートの仕組みを考えて行っていくことなので、３項目はなくして、有料化の検討の時期が来ているその際にはにつづけて一つの文章にしていくのでいかがでしょうか。
委員長	それではその他に移りたいと思います。
委員	巡回バスの利用促進を図る会で２点報告があります。 ブログを開設させていただきましたのでぜひ見ていただきたい。 10 月 27 日の日曜日にあいさいさん祭りが開催されるが午後からブースをかりて巡回バスのＰＲをしますのでよろしくお願いします。
委員長	みなさんよろしいですか。 それではこれにて本日は終了させていただきます。